

とめNNだより

「とめNNだより」は、農業農村整備部(通称 NN 部)の広報広聴活動の一環として、登米管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせする目的で、年 4 回発行を予定しております。掲載内容についてお問い合わせ等ありましたら、管理調整班までご連絡ください。

【東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部広報広聴委員会】

■初期型ほ場整備再生計画策定検討会を設置・開催しました！

登米地域のほ場整備は、昭和 40 年代初めから着手し、平成 28 年度で整備率 84%と県内で最も整備が進んでいますが、大区画(50a 以上)の整備率は 33%と、決して高くはありません。これは「大区画ほ場整備事業」が始まる前の「一般型ほ場整備事業」により、30a 区画を標準として大部分を施工したことに由来します。

そこで、30a 区画で整備した水田を「初期型ほ場整備」と定義し、当該地域の営農における現状と課題を検証しながら、登米地域農業の発展に資する再生計画を策定するため、「初期型ほ場整備再生計画策定検討会」を設置し、平成 30 年 3 月 14 日に第 1 回目となる会議を開催しました。

検討会は、当事務所のほか、登米市、JA 及び関係土地改良区の職員で構成されており、今年 9 月までの再生計画策定、平成 30 年度末までの再生計画に基づく整備を行うパイロット地区の選定に向け、関係機関が一丸となって取り組んで参ります。



▲会議の様子



▲江畑副所長による挨拶

■農地集積確認調査を行いました！(登米市迫町、中田町)

平成 30 年 2 月上旬、登米管内の農業経営高度化支援事業を実施している下表 4 地区の確認調査を行いました。ほ場整備事業はハード事業とソフト事業で構成されており、農業経営高度化支援事業はソフト事業に該当し、基盤整備を契機として意欲と能力のある経営体の育成や面的集積による効率的な営農を着実に推進していくために、事業を通じて県が支援・指導に取り組んでいます。

確認調査を経て報告された平成 29 年度の農地集積率については、下表のとおりです。

農地集積率速報値(H29高度化支援事業実施地区)

地区名	受益面積	事業完了	目標年度	目標集積率	H29集積率
飯島地区(農山漁村)	203.6ha	H29	H30	63.0%	62.8%
桜場地区(競争力)	334.9ha	H25	H29	63.7%	69.2%
新井田南部地区(競争力)	122.5ha	H27	H30	74.1%	79.2%
伊豆沼2工区地区(競争力)	104.4ha	H33	H34	87.0%	99.1%

※平成30年3月作成



▲確認調査の様子

■多面的機能支払交付金の中間指導に立ち会いました！

農業・農村は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、美しい風景の形成など様々な働き(多面的機能)があり、多面的機能が適切に発揮されるよう、交付金により地域の共同活動が支援されています。

登米管内においては 148 の活動組織があり、事業計画の認定者である登米市が全組織を対象に中間指導を行い、当部職員が中間指導に立ち会いました。組織数が多いこともあり、指導期間は平成 29 年 11 月中旬から約 1 ヶ月間に及びましたが、優良な活動組織の育成に向けて、今後もバックアップしていきます。

■十五貫排水機場のポンプ設備が完成しました！（登米市豊里町）



▲十五貫排水機場ポンプ設備の様子

農村地域防災減災事業「豊里地区」の十五貫排水機場のポンプ設備工事が完成し、平成30年3月から新機場が稼動しました。

十五貫排水機場は昭和39年に造成され、既に50年以上経過しており、老朽化等により排水能力が著しく低下していました。そのため、施設改修を行い、農地・農業用施設や公共施設への大雨等による被害を未然に防止することを目的に事業を実施しています。

場内整備等事業完了までにもう少し時間がかかりますが、早期完了に向けて取り組んでいきます。

■五ヶ村堀地区の新技术を紹介しました！（登米市米山町）

平成30年2月26日に県登米合同庁舎で「登米・気仙沼地域土地改良区連絡協議会研修会」が開催され、県営水利施設整備事業「五ヶ村堀地区」の新技术について、当部の職員が講師となり紹介しました。本研修会は、登米・気仙沼地区内土地改良区の緊密な連携と土地改良事業の発展並びに土地改良区の健全な運営を期する事を目的として開催されたものです。

五ヶ村堀地区は、全国で初となる新設機場のモーターポンプに「ドライ始動技術」を導入しています。ドライ始動とは、ポンプケーシング(水を通す管)が非満水状態のときに満水工程(吸気)を開始し、同時に、ポンプモーターも起動してポンプの負荷トルクを低減させる始動方式です。これにより、フリッカ(照明等のちらつき、弱電機器の誤動作などが起きる電気障害)対策やポンプの始動性の向上が図られます。室内研修後、一同現地に移動し、現場状況も説明し、確認していただきました。説明後は活発な質問が寄せられ、有意義な研修に役立てたことと思います。



▲室内研修の様子



▲現地研修の様子

■米川地区のワークショップを実施しています！（登米市東和町）

ほ場整備事業で新規採択を目指す米川地区（登米市東和町、受益面積A=56ha）では、平成29年11月末時点で、3条資格者154名全員から調査同意を得ました。これを受けて地域の課題を把握し、地域営農構想を構築するために、これまで計4回のワークショップを実施しました。

- 第1回：地域農業の発展に向けた課題の把握、掘り下げと現状の良い点について
- 第2回：現地・集落点検（現地踏査）
- 第3回：問題点の解決策について
- 第4回：営農戦略構想について

今後、第5回ワークショップを実施し、米川地区の将来のあるべき姿を踏まえた地域営農構想の原案を作成し、来年度の受託調査申込みを目指します。



▲第1回ワークショップの様子

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所
農業農村整備部 広報広聴委員会（編集:管理調整班）

〒987-0511

宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼 150-5

Tel: 0220-22-5169

Fax: 0220-22-6015

E-mail: et-tmnbkt@pref.miyagi.lg.jp

URL: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-ns/>

～復興へ 頑張ろう！みやぎ～